

2020年1月31日
一般社団法人日本水族館協会
会長 石橋敏章

日本初、水族館による業界団体が誕生

「一般社団法人日本水族館協会」設立のおしらせ

この度、水族館等の連携を強化し、水族館等が持つ機能の更なる発揮を推進するため、水族館等を正会員とする法人組織「一般社団法人日本水族館協会」（所在地：東京都千代田区／会長：石橋敏章、以下「当協会」とします）を設立いたしました。

当協会は、科学的根拠に基づく水生生物資源の持続的利用の立場から、水族館等が持つ多様な機能や役割、魅力を維持・向上するための事業を展開し、各水族館および水族館業界の発展を目指しています。水生生物の飼育展示・教育研究・保護保全活動を行う水族館等の独自性を尊重し各種情報共有と連携をもって、共通する課題の解決に向けた取り組みや情報発信を積極的に行ってまいります。

ウェブサイト：<https://www.j-aqua.org/> ※ウェブサイト正式運用は2020春頃を予定

設立の背景

我が国の水族館等は国土面積当たりの数は世界一で全国に100か所以上あり、利用者数は年間で3,500万人以上といわれており、海と共に生活する日本人の文化とも密接に関連してきました。そのため、地域の観光拠点としての役割を担う他、水生生物の飼育展示に従事するからこそ可能な研究や教育の場となること、さらには自然環境保護や保全を啓発することなど、現在では多様な社会的役割を果たしています。

しかし、水族館等を取り巻く国際的な環境変化などを踏まえて、水族館業界が一致団結して社会的役割を発信し水族館機能の維持向上を図ることで、日本独自の発展を促し世界へ発信する法人組織が必要だという認識に至り、当協会を設立する運びとなりました。

なお、当協会設立の最終判断は、鯨類（イルカ・クジラ等）を飼育展示する水族館等が主な会員となり2016年に発足した任意団体「日本鯨類研究協議会」（Japan Association for Cetacean Research 以下、「JACRE」）の通常総会（2019年7月開催）における「組織の法人化」決議が発端となっております。当該決議に基づき、2020年3月、JACRE会員を当協会会員へ移行しJACRE事業を継承するとともに、全ての水族館等にとり有益となる新たな事業の具体化に向けて、水族館業界はもちろん、行政・漁業者・研究者・関連団体をはじめとする皆様と幅広く連携を図り、活動してまいります。

協会の概要

名 称：一般社団法人日本水族館協会（Japan Aquarium Association、略称 JAA）
所在地：〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館 9 階
株式会社江ノ島マリンコーポレーション 内
設 立：2019 年 11 月 22 日
役 員：会 長 石橋 敏章（下関市立しものせき水族館「海響館」館長）
副会長 田中 平（大分マリーンパレス水族館「うみたまご」館長）
専務理事 堀 一久（株式会社江ノ島マリンコーポレーション 代表取締役社長）

協会の目的

当協会は、科学的根拠に基づく水生生物資源の持続的利用の立場から水生生物の飼育展示・教育研究・保護保全活動を推進し、海洋立国である我が国の海洋教育に寄与するとともに、もって我が国固有の文化伝統の維持、科学技術の振興および自然環境の保護保全に貢献することを目的とする。（「当協会定款」第 3 条）

協会の事業

当協会は目的を達成するため、水生生物に関する次の事業を行う。（「当協会定款」第 4 条）

- (1) 飼育施設の管理運営に関する調査研究及び相互支援事業
- (2) 飼育・繁殖に関する資料の収集
- (3) 種の保存及び持続的な利用に関する調査研究
- (4) 研修・教育の企画、運営、開催
- (5) 広報活動
- (6) セミナー、講演会、イベント、交流会等のコンテンツの開発及びそれらの企画、運営、開催
- (7) 出版物、印刷物等の発行
- (8) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

今後の主な活動予定

2020 年 3 月 27 日 「第 4 回つくみイルカ研究シンポジウム in おおいた」後援
場所 大分県大分市
主催 大分県津久見市、株式会社マリーンパレス

2020年7月2日、3日 「令和2年（2020年）度社員総会」

場所 山口県下関市

【参考】JACRE 概要（2020年1月現在）

(1) 発足

2016年1月、日本で鯨類を飼育する施設（水族館等）を中心に、水産庁、漁業関係者、大学等の研究者など関係者を交えた任意団体組織として発足し活動しています。

(2) 会員数

- ① 正会員（水族館等施設） 40名（施設）
- ② 賛助会員（企業・団体） 32名（団体）
- ③ 個人会員（研究者等） 4名

(3) 実施事業（2019年度：主なもの）

2019年7月 「令和元年（2019年）度通常総会」

場所 新潟県上越市

出席 96名（水族館等41施設ほか）

2019年11月 「第4回トレーニングセミナー」

場所 茨城県水戸市 ほか

出席 74名（水族館等32施設ほか）

目的 飼育下鯨類ならびにその他海洋動物の長期飼育、展示、教育、調査研究について、それらに関わるトレーニングを多角的に捉え、関係業務に従事するトレーナー間のトレーニングに関する知見の共有、及び技術の発展を目的とする。

2020年1月 「第3回広報セミナー」

場所 東京都千代田区

出席 60名（水族館等28施設ほか）

目的 日本の海洋資源管理政策ならびに最新の国内外情勢を情報収集できる機会を提供し、各施設が独自の方法において正しく情報発信を行うための指針とする。

2020年2月（予定）「イルカ人工授精シンポジウム」

場所 東京都大田区

出席 90名（水族館等37施設ほか）

目的 人工授精技術の共有化と技術向上を図り、日本の鯨類飼育施設にとり、継続的なイルカ展示のための方策のひとつとする。

PRESS RELEASE

2020年2月（予定） 「第3回水族館研究会」
場所 東京都大田区
出席 110名（水族館等40施設ほか）
目的 水生生物全般を対象とする飼育生物や施設運営・サービス・設備等、水族館に関わる研究発表の場を提供し、施設の持続的発展に寄与することを目的とする。

本件に関するお問い合わせは、担当者までお電話にてご連絡をお願い致します

一般社団法人日本水族館協会 事務局
(株式会社江ノ島マリンコーポレーション内)

担当：挾間（はざま）

電話：03-3212-1101（平日10:00-17:00）
